

公立小中学校の 不登校対策

齋藤康夫
(参政党)

(ア)多くの児童生徒の中には現在の学校教育に馴染むことができない人もいる可能性がある。そもそも不登校は悪いことなのか、解消すべきものであるのか。(イ)小金井市の不登校児童・生徒数は東京都や全国と比べて、小学生は少し多く、中学生は少し少ない。この結果に対する見解を求めます。(ウ)公立小中学校に代わるフリースクールを注目すべきではないか。(エ)我々議員が理解すべきこと、また教育者側から分かってほしいことはあるか。



行けるように対応することが求められた。今では不登校はすぐに解消すべき問題と考えることは適切でないと思われる。(ウ)フリースクールは規模や活動内容が様々であり、フリースクールの出席を学校の出席と認めるためには一定の要件を満たす必要がある。

課長職 (イ)出現率はそうなっているが、長期欠席では小中学校とも少ない。

教育長 (エ)かつて不登校が増加した3つの波があった。小金井市教育委員会としては、学力の向上という言葉は使わなくなった。生きるための確かな学力を身につけさせるとしている。

気候危機対策の 充実を求める

たゆ久貴
(日本共産党)

近年、世界各地で地球温暖化による異常気象が頻発している。このまま温暖化が進行すると私たちの市民生活に大きな影響が出る。気候変動による気象災害は極めて深刻で身近に迫った脅威であり、まさに気候危機といえる。国や東京都は石炭火力発電の延命や開発による緑の伐採などを行っており、気候危機対策に逆行する取組も見られ決して十分とは言えないが、小金井市においては先進的な取組を求める。(ア)2022年1月に「小金井市気候非常事態宣言」を出してから市政はどのように変わったか。



(イ)小金井市地球温暖化対策地域推進計画の温室効果ガス排出量の削減目標の適切な値への引上げが必要ではないか。(ウ)住宅用新エネルギー機器等普及促進補助交付金は、断熱窓や遮熱塗装などのメニューを追加し、予算規模も千万円ほどから千600万円ほどに増額してきて良かったが、それでも今年はずでに補助の合計が予算額に達している。更なる増額が必要ではないか。

部長 (ア)環境教育の充実、住宅用新エネルギー機器等普及促進補助交付金の増額、次世代自動車普及促進補助金、省エネチャレンジなどを行ってきた。(イ)検討を進める。(ウ)制度を継続する。

不登校支援の充実／子育て オンライン相談導入を

水谷たかこ
(こがも)

(ア)全国の不登校児童の出現率は令和元年度と5年度の比較では小学1年が最も増えている。本市の状況は。(イ)保護者グループ等の情報に必要時にアクセスできる工夫を。(ウ)カウンセラー予約をICT化できないか。(エ)別室指導教室がない学校の支援は。学童保育所の育成室は利用できないか。部長 (ア)本市でも6倍になっており同様の傾向。幼・保・小連携の充実を図る。(イ)情報が欲しいときに取り出せる方法を研究する。(ウ)現状の利点や課題等を含めて研究する。(エ)一人ひとりの児童・生徒にきめ細やかな対応をしており、新設した不登校対策会議でも学期に一度協議している。育成室利用は学校から具体的に相談があれば協力したい。



産婦人科と小児科のオンライン相談が24時間可能で、医療情報の配信等もできるサービスがあり、産後うつへのリスクを減少できるDXを推進し、人でなければできない相談等に職員のリソースを注力しないか。

部長 今年度は組織統合して切れ目のない対面支援に力を入れており、併せて他市事例等を研究したい。

その他、学校運営協議会の協議状況を確認し、リリースト等での広報拡充と理解促進を提案しました。

市による子どもへの 人権侵害はやめるべき

片山かおる
(子どもの権利)

(ア)市立保育園の保護者4人からの人権救済申立への見解は。(イ)新たな法律意見書にあるように、住民の平等利用権への抵触では。(ウ)控訴せず確定判決によって違法・無効とされた募集廃止条例の適用排除は行政の原則に適合するのでは。(エ)判決を重く受け止めるのは。(オ)判決で市長は利用申請に対し改正前の条例を適用すべきだったと判示されている。(カ)原告のお子さんの権利侵害を続けていくのか。(キ)市長公約を実現するために今の対応を見直すのか。(ク)来年度2歳児募集廃止は違法な行政執行で



(ク)子どもへの人権侵害は一刻も早くやめてほしい。

部長 判決は原告との関係において専決処分を違法、条例を無効とするもので原告以外の第三者に対して法律上の義務を生じない。条例は不安定な状態なので市立保育園の在り方検討の上で必要な対応をする。原告のお子さんが最後に1人になってしまふのは課題。

市長 人権救済の申立は市として初めてで重たく受け止める。市の見解はこれまで議会で答弁したとおり。

その他、社会教育の理念の下での公民館の役割、在り方、歴史的意義の見解と公民館運営審議会での有料化の議論を質疑しました。

3・4・11号線／薬局準夜 調剤／学校プール授業

河野麻美
(自民党・信頼)

(ア)市長は都に環境に配慮した道路整備を求めるとの発言は見解は。(イ)当該路線の整備により、近隣市と連携し新たなバスルートの開設が考えられ、本市の発展に必要な見解は。(ウ)都庁との総合的に判断する。(イ)都時間ネットワークが重要だと認識している。



夜帯に開局している薬局について市報に掲載すること

部長 (ア)医療提供体制の整備は重要と考えている。(イ)担当部局と調整する。

3)本年学校プール授業外部委託の試行実施を行った。(ア)猛暑等の影響で指導回数を満たせなかった学校はあるか。(イ)試行実施で見えてきた課題は。(ウ)今後試行実施校を増やすとのことだが、その他の学校の猛暑対策も急務であり、大型サンシェード設置等の処置を求めるとのこと。

はて？男女別年齢制限 図書館で託児サービス

安田けいこ
(生活者ネット)

1)小金井市民体育祭ゴルフ大会の参加条件が「男性35歳以上、女性20歳以上」と男女差があると市民から情報提供があった。会場の小金井カントリー倶楽部の参加条件そのままであり、1996年に男女平等都市宣言、2003年に男女平等基本条例を定めた本市主催の大会参加条件として極めて不適切である。これまで長く同条件で実施されてきたが今後は変えていくと市長は明言すべきではないか。



2)活字離れが進む中、図書館で子育て支援に取り組む意義は大きい。(ア)図書宅配のハンディキャップサービスを妊産婦に広げないか。(イ)国分寺市など近隣市でも実施している図書館での託児サービスを始めないか。

部長 (ア)要綱の取扱い含め検討したい。(イ)お子様の安全確保等の課題があり、引き続き検討を要する。

市長 今後、男女共同参画行動計画に沿って体育協会等関係団体と協議したい。

令和6年度 国分寺市立図書館 託児付き図書館サービス
図書館で過ごす自分の時間
子育て中の方が、図書館でゆっくりと読みたい本を借りながら、お子さんと一緒に過ごすことができます。
【託児時間】午前10時～11時(受付は午前9時45分から)
【対象】市内在住の6ヶ月～3歳の未就学児童(保護者3名)
【料金】無料【定員】8人(内、初めての貸借者3人)
【申込み】各開催日の受付開始(下記開催一覧表参照)にメールで申込みください。
※本館の貸借サービスは、本館に直接お越しください。

ココバス東町・中町循環 の存続を

森戸よう子
(日本共産党)

ココバスの東町・中町循環の2路線が2027年3月末に廃止すると京王バスから申入れがあった。ココバスは市民にとって重要な移動手段であり、存続が求められている。(ア)市は2路線を存続する立場で協議するのか。(イ)全国、東京都内でも運転手不足が問題となっている。地域公共交通の支援を国や東京都に要請しないか。(ウ)ココバスの乗降客数を増加させるため、シールパスの使用、他市のような65歳以上の免許返上者への回数券を1回発行するなど工夫はないか。(エ)ハンドレイサポートが今年度末で廃止されるが、武蔵野市のような有償移送事業が実施できないか。



部長 (ア)継続運行できない道がないか模索したい。(イ)国や都道府県単位の広域的な取組が必要であり要望したい。(ウ)持続可能な運行が難しくなるため、高齢者の方は再編前と同額の100円とする割引制度を導入している。(エ)他市の状況や取組について調査の上、市として取り組めることがないか、社会福祉協議会とも連携しつつ、検討したい。

その他、都市計画道路の検証について、公立保育園の廃園条例の違法判決の結果に対する市の対応の是正について質問しました。

視覚に障がいのある方へ
「声の議会だより」をご利用ください
視覚に障がいのある方を対象に、CD及びデジCDに市議会だよりの内容を音声で収録した「声の議会だより」をお届けしています。
ご家族やお知り合いで視覚に障がいのある方がいましたら、ご利用をお勧めください。ご希望の方は、電話で議会事務局へお申し込みください。
なお、収録はボランティアグループの「小金井市対面朗読の会」のご協力をいただいています。
【対象】原則として障害者手帳1～6級の視覚障がいのある方(対象者以外でも、図書館本館でご利用いただけます)
【申込】議会事務局(市役所本庁舎4階)
☎042-387-9947